

野菜価格安定対策事業

【令和2年度補正予算額 5,597百万円】

<対策のポイント>

新型コロナウイルス感染拡大の影響による外食等の需要減少や市場入荷量の増加により野菜価格が著しく低落し、野菜価格安定対策事業の交付額が増加したことから、価格下落の影響緩和対策として事業を円滑に実施できるよう資金の追加を行い、野菜の生産・出荷の安定と消費者への安定供給を図ります。

<政策目標>

野菜の生産及び出荷の安定を図ることで、市場入荷量及び市場価格の変動を抑制

<事業の内容>

1. **指定野菜価格安定対策事業**
指定野菜の価格が著しく低下した場合に、補給金を交付します。
2. **特定野菜供給産地育成価格差補給事業**
特定野菜の価格が著しく低下した場合に、補給金を交付します。
3. **契約指定野菜価格安定対策事業**
契約取引される指定野菜の価格が著しく低下した場合等に、補給金を交付します。
4. **契約特定野菜等安定供給事業**
契約取引される特定野菜の価格が著しく低下した場合等に、補給金を交付します。
5. **契約野菜収入確保モデル事業**
産地要件によらず契約取引される指定野菜の価格が著しく低下した場合等に、交付金を交付します。
6. **緊急需給調整事業**
重要野菜等の価格が著しく低下し出荷調整を行った場合等に、交付金を交付します。

負担金の納付猶予

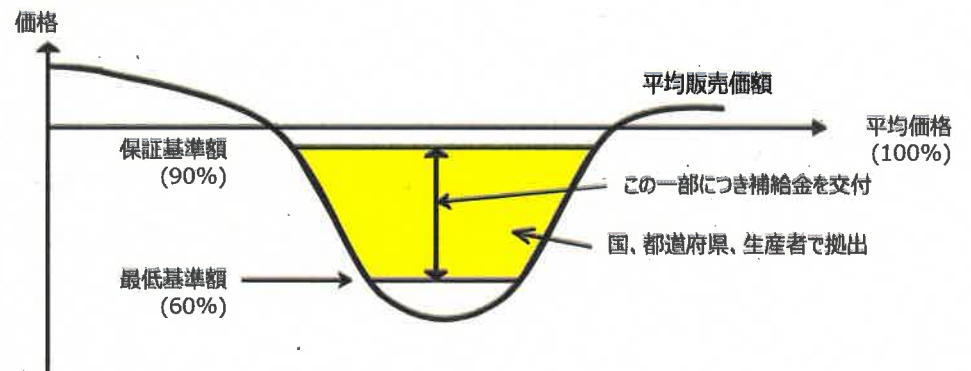
登録出荷団体等の負担金の納付猶予を実施します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

【基本の仕組み】



【指定野菜（14品目）：国民消費生活上重要な野菜】

キャベツ、きゅうり、さといも、だいこん、トマト、なす、にんじん、ねぎ、はくさい、ピーマン、レタス、たまねぎ、ばれいしょ、ほうれんそう

【特定野菜（35品目）：国民消費生活上や地域農業振興の観点から指定野菜に準ずる重要な野菜】

アスパラガス、いちご、えだまめ、かぶ、かぼちゃ、カリフラワー、かんしょ、グリーンピース、ごぼう、こまつな、さやいんげん、きやえんどう、しゅんぎく、しょうが、すいか、スイートコーン、セルリー、そらまめ、ちんげんさい、生しいたけ、にら、にんにく、ふき、ブロッコリー、みずな、みつば、メロン、やまのいも、れんこん、ししとうがらし、わけぎ、らっきょう、にがうり、オクラ、みょうが

【お問い合わせ先】生産局園芸作物課 (03-3502-5961)